

総合診療科 臨床研修プログラム

研修目的

地域医療を支える、専門性と総合性を備えたすそ野の広い総合診療医の姿勢・技術を修得する。
(被災・へき地や在宅を含む) 地域住民の健康管理を経験する。

習得できるアウトカム (能力)

1) 必ず習得できるアウトカム (能力)

※習得することで診療科の研修を修了できます。習得できていないと評価を受けた場合は、研修期間が延長となります。

A. 医師としての基本的価値観 (プロフェッショナリズム)

- ・患者・家族の価値観や自己決定権を尊重し、良好なコミュニケーションを取る。

B. 資質・能力

- ・診療科目にこだわらない診療ができる (内科・神経・骨／骨格筋・精神疾患、感染症)。
- ・同僚、他科、コメディカル、保健福祉介護関係者と協働する (チーム医療の実践)。

C. 基本的診療業務

- ・病棟/救急/新患外来において診察を行い、鑑別診断を挙げ、検査計画をプレゼンする。
- ・病棟/救急外来における病態変化に対し、迅速・的確に対応できる。

2) 研修医の意向により習得できるアウトカム (能力)

A. 医師としての基本的価値観 (プロフェッショナリズム)

- ・へき地・災害被災地・未開発地域などの医療資源の少ない地域における医療提供を行う。

B. 資質・能力

- ・診療に必要な **Evidence** を自ら取得・解釈し、実践できる。

C. 基本的診療業務

- ・医療資源の少ない地域の病院/診療所で医療面接、身体診察を行い、検査治療計画を立てる。

具体的な指導方法・フィードバック方法 (研修方略)

研修初年度：外来、病棟、救急外来を中心に指導医とともに診察を行い、病歴や検査結果から、診断や治療方針を考える。症例プレゼンテーションを行い、フィードバックを受ける。

研修医 2 年目：希望に応じ登米・石巻地域医療教育サテライトセンターでの研修が可能である。

週間予定表

	午前	午後	夕方
月	8:30～カンファ・朝回診		夕回診
火	8:30～カンファ・朝回診		夕回診
水	8:30～カンファ・朝回診	教授回診・症例カンファ	抄読会
木	8:30～カンファ・朝回診		夕回診
金	8:30～カンファ・朝回診		夕回診

指導責任者および指導医

指導責任者：菅野厚博 (教授)、指導医：住友和弘、大原貴裕、富田尚希、藤川祐子、植田寿里、大泉智哉、山並寛明、村中美千帆、福井妙珠

学会発表・論文作成に対する指導体制

内科学会、日本プライマリ・ケア連合学会、日本病院総合診療医学会、日本老年医学会などへの参加が可能。指導医が発表のための文献検索・プレゼンテーション作成につき個別に指導する。